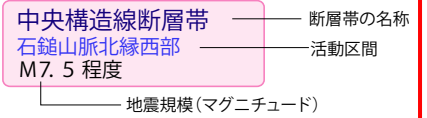


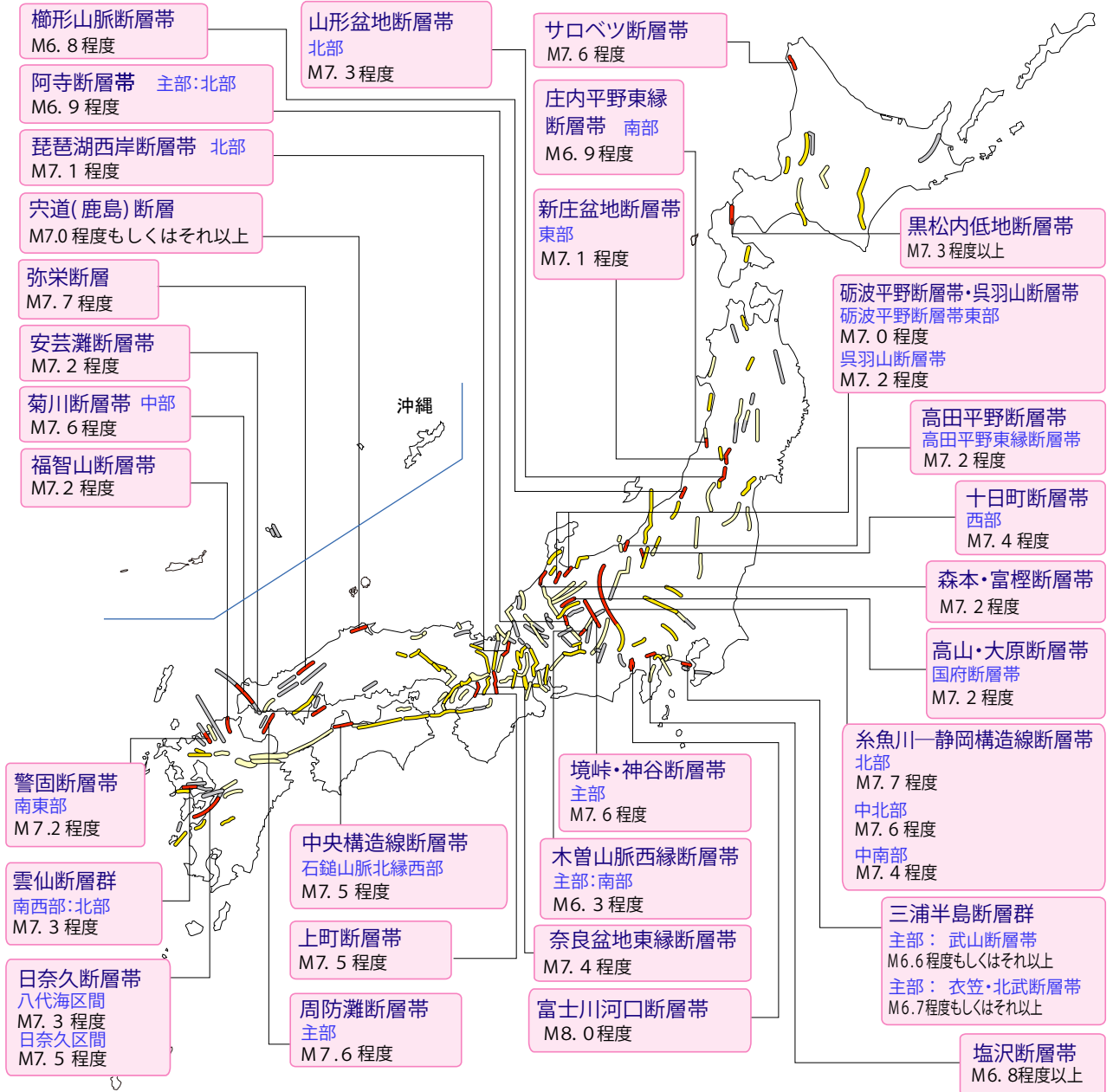
- 凡例：
- Sランク(高い)：30年以内の地震発生確率が3%以上
 - Aランク(やや高い)：30年以内の地震発生確率が0.1~3%未満
 - Zランク：30年以内の地震発生確率が0.1%未満
(Zランクでも、活断層が存在すること自体、当該地域で大きな地震が発生する可能性を示す。)
 - Xランク：地震発生確率が不明(過去の地震のデータが少ないため、確率の評価が困難)

Sランクの活動区間を含む断層帯に吹き出しを付けた。



- ・ひとつの断層帯のうち、活動区間によってランクが異なる場合がある。
- ・Sランク、Aランク、Zランク、Xランクのいずれも、すぐに地震が起こることが否定できない。
- ・また、確率値が低いように見えても、決して地震が発生しないことを意味するものではない。
- ・新たな知見が得られた場合には、地震発生確率の値は変わることがある。

ランクの算定基準日は2024年1月1日



○ ランク分けに関わらず、日本ではどの場所においても、地震による強い揺れに見舞われるおそれがあります。